

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校名 古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院
設置者名	学校法人 菊武学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名 ・ コース名	夜間・ 通信制の 場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の 単位数又は授 業時数	省令で定める 基準単位数又 は授業時数	配 置 困 難
商業実務 専門課程	フラワービジネス *フラワーデザインコース	—	68 単位	6 単位 3×2 年	
	フラワービジネス *ガーデンデザインコース	—	60 単位	6 単位 3×2 年	
	フラワービジネス *フラワーウェディングコース	—	60 単位	6 単位 3×2 年	
	ブライダルビジネス *ウェディングプランナーコース	—	55 単位	6 単位 3×2 年	
	ブライダルビジネス *ドレス・ヘアメイクコース	—	72 単位	6 単位 3×2 年	
	コンピュータビジネス	—	学生募集停止 *在籍者なし	—	
	フラワーマスター	—	36 単位	3 単位 3×1 年	
	ブライダルマスター	—	102 単位	3 単位 3×1 年	
文化・教養 専門課程	初級公務員	—	学生募集停止 *在籍者なし	—	
	トータルビューティ	—	52 単位	6 単位 3×2 年	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="https://www.nwfb.ac.jp/disclosure.html">https://www.nwfb.ac.jp/disclosure.html</a> 「大学等における修学支援に関する法律第7条1項に係る情報公開」の項目にて公表
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

## 様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院
設置者名	学校法人 菊武学園

### 1. 理事（役員）名簿の公表方法

本学園ホームページ (<https://www.kikutake.jp>) のトップページ右上の「寄附行為・役員名簿」の中で、理事（役員）の氏名を公表している。

### 2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	元会社役員	令和4年4月1日～ 令和8年3月31日	法人運営体制への チェック機能
非常勤	会社役員	令和4年4月1日～ 令和8年3月31日	法人運営体制への チェック機能
非常勤	会社役員	令和4年4月1日～ 令和8年3月31日	法人運営体制への チェック機能
非常勤	会社役員	令和4年4月1日～ 令和8年3月31日	法人運営体制への チェック機能
(備考) 特に記載事項なし			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校名 古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院
設置者名	学校法人 菊武学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
1) 「作成」 授業計画(シラバス)について、本校学事課より授業担当者に記載すべき下記事項を説明し提出を求めている。(1月初旬)	
① 「科目名、時間数、受講対象者、担当教員名」	
② 「授業担当者実務経験」	
③ 「授業概要」	
④ 「到達目標」	
⑤ 「授業計画」(授業回数・スケジュール)	
⑥ 「授業の方法」(講義・演習・実験・実習)	
⑦ 「必要教材、テキスト等」	
⑧ 「参考図書・参考URL」	
⑨ 「成績評価方法・基準」	
2) 「提出」 授業担当者から学事課へ提出された授業計画書を点検・確認。(3月初旬)	
3) 「公表」 授業計画書を本校ホームページに公表。 授業の内容・目的・評価等についての理解を促す。	
授業計画書の公表方法	<a href="https://www.nwfb.ac.jp/syllabus.html">https://www.nwfb.ac.jp/syllabus.html</a>
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>1) 「履修認定方法」</p> <p>次に示す①、②の要件をいずれも満たした場合に当該授業科目の履修を認定する。</p> <p>①出席時間数が学期授業時間数又は学年授業時間数の5分の4以上であること。</p> <p>②成績評価が「C (可)」以上であること。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・各授業科目の成績評価は、A (優) 100～80点、B (良) 79～60点、C (可) 59～50点、D (不可) 49点以下の4段階で表し、A、B、Cを合格として単位を認定し、Dは不合格として単位は認定しない。</p> </div> <p>2) 「成績評価」</p> <p>成績評価は、定期試験、小テスト、課題、レポート、実技試験のほか、出席状況、学習状況、授業態度等に基づいて総合的に行っている。</p> <p>授業担当者には、授業計画書において成績評価基準を具体的な数値基準で明示するよう依頼。</p> <p>3) 「評定」</p> <p>各学科、コースごとに評定をつけている。</p> <p>4) 「履修認定委員会による厳格かつ適正な履修認定」</p> <p>履修認定委員会は、校長、各学科長、事務課長、学事課長、ホームルーム担任によって構成され、委員会開催時での認定資料に基づき適切に認定している。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>・成績評価の客観性・厳格性を確保するとともに、学生の学習到達度を明確化して、適切な学修指導と教育の質保証に資することを目的とする。前項の成績評価に対して、Grade Point (以下「GP」という。)を設定し、履修登録した授業科目のGPの平均値 Grade Point Average (以下「GPA」という。)を算出する。GPAの算出方法は以下のとおりとする。</p> <p>①各科目の学年成績に対して単位当たりのGrade Pointを付与する。 (取得単位数×Grade Point+取得単位数×Grade Point+…) / 当該年度履修単位数 ※小数点第3位を四捨五入する。</p> <p>②GPは、Aを3点、Bを2点、Cを1点、Dを0点とする。</p> <p>③GPA算入は、合格した科目だけでなく、不合格となった科目も対象とする。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p><a href="https://www.nwfb.ac.jp/disclosure.html">https://www.nwfb.ac.jp/disclosure.html</a></p> <p>「大学等における修学支援に関する法律第7条1項に係る情報公開」の項目にて公表</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

1) ディプロマポリシー「卒業認定・学位授与の方針」

本校の教育理念である「本物志向の教育」、「国際教育・教育の国際化」、「師弟同行を踏まえた教育活動」、「学校文化」に基づいて設定された教育課程を履修して所定の単位を修得した上で、次の資質・能力を身につけ総合的に活用できる者に卒業を認定するとともに、専門士の称号を与える。

1. 地域社会、国際社会の動向に目を向け、より良い社会の実現に向けて主体的かつ積極的に行動し、貢献することができる。
2. フラワー・ブライダル・ビューティの各分野における専門性の基礎となる幅広い教養を深め、専門的な知識・技術・職業理解を身につけている。
3. 他者を尊重し、多様な価値観を受け止め、様々な人々と円滑にコミュニケーションを図ることができる。
4. 自らを律し、課題を発見し、他者と協働して課題解決のために行動できるとともに、向上心を持って学び続けることができる。
5. 身につけた教養や専門性をもって他者に寄与できることの幸福やその重要性を深く理解することができる豊かな人間性を有している。

2) 「卒業の認定に関する方針の公表」

授業担当教員には、新年度授業前に開催する「教職員全体会」において、学則の説明を通して「卒業の認定に関する方針」の具体的な内容を公表している。また、学生及びその保護者については、入学後のオリエンテーションの場で配布される「ハンドブック（学生便覧）」やその後のホームルーム活動の場を通して、学生一人ひとりに周知が図られるよう取り組んでいる。本校ホームページへも公表している。

3) 「卒業の認定の適切な実施状況」

卒業認定委員会は、校長、各学科長、事務課長、学事課長、ホームルーム担任によって構成され、委員会開催時での認定資料に基づき適切に認定している。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

<https://www.nwfb.ac.jp/disclosure.html>  
「大学等における修学支援に関する法律第7条1項に係る  
情報公開」の項目にて公表

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院
設置者名	学校法人 菊武学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.kikutake.jp/05data/index.html">https://www.kikutake.jp/05data/index.html</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.kikutake.jp/05data/index.html">https://www.kikutake.jp/05data/index.html</a>
財産目録	<a href="https://www.kikutake.jp/05data/index.html">https://www.kikutake.jp/05data/index.html</a>
事業報告書	<a href="https://www.kikutake.jp/05data/index.html">https://www.kikutake.jp/05data/index.html</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://www.kikutake.jp/05data/index.html">https://www.kikutake.jp/05data/index.html</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	フラワービジネス科 フラワーデザインコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	65単位	0単位	16単位	57単位	0単位	0単位
			73単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人の内数		37人	0人	2人	16人	18人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	フラワービジネス科 ガーデンデザインコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	65単位	0単位	16単位	53単位	0単位	0単位
			69単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人の内数		5人	0人	2人	16人	18人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	フラワービジネス科 フラワーウェディングコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技

2年	昼	65単位	0単位	16単位	53単位	0単位	0単位
			66単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人の内数	32人	0人	2人	16人	18人		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	ブライダルビジネス科 ウェディングプランナーコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62単位	10単位	16単位	38単位	0単位	0単位
			64単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160人の内数	125人	0人	5人	24人	29人		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	ブライダルビジネス科 ドレス・ヘアメイクコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	63単位	3単位	17単位	52単位	0単位	0単位
			72単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160人の内数	61人	0人	5人	24人	29人		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	トータルビューティ科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62単位	0単位	18単位	47単位	0単位	0単位
			65単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	27人	0人	1人	14人	15人		



分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	フラワーマスター科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	30単位	0単位	15単位	78単位	0単位	0単位
			93単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		0人	0人	2人	16	18人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	ブライダルマスター科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	30単位	13単位	18単位	76単位	0単位	0単位
			107単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		0人	0人	5人	24人	29人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）						
<p>(概要)</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>1) 「作成」</p> <p>授業計画（シラバス）について、本校学事課より授業担当者に記載すべき下記事項を説明し提出を求めている。（1月初旬）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 「科目名、時間数、受講対象者、担当教員名」</li> <li>② 「授業担当者実務経験」</li> <li>③ 「授業概要」</li> <li>④ 「到達目標」</li> <li>⑤ 「授業計画」（授業回数・スケジュール）</li> <li>⑥ 「授業の方法」（講義・演習・実験・実習）</li> <li>⑦ 「必要教材、テキスト等」</li> <li>⑧ 「参考図書・参考URL」</li> <li>⑨ 「成績評価方法・基準」</li> </ol> <p>2) 「提出」</p> <p>授業担当者から学事課へ提出された授業計画書を点検・確認。（3月初旬）</p> <p>3) 「公表」</p> <p>授業計画書を本校ホームページに公表。（4月初旬）</p> <p>また初回の授業実施時には、授業担当者より授業計画書（印刷物）を全受講者に配布。授業の内容・目的・評価等についての理解を促す。</p>						
成績評価の基準・方法						
<p>(概要)</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>1) 履修認定方法</p> <p>次に示す①、②の要件をいずれも満たした場合に当該授業科目の履修を認定する。</p>						

①出席時間数が学期授業時間数又は学年授業時間数の5分の4以上であること。

②成績評価が「C（可）」以上であること。

・各授業科目の成績評価は、A（優）100～80点、B（良）79～60点、C（可）59～50点、D（不可）49点以下の4段階で表し、A、B、Cを合格として単位を認定し、Dは不合格として単位は認定しない。

2) 「成績評価」

成績評価は、定期試験、小テスト、課題、レポート、実技試験のほか、出席状況、学習状況、授業態度等に基づいて総合的に行っている。

授業担当者には、授業計画書において成績評価基準を具体的な数値基準で明示するよう依頼。

3) 「評定」

各学科、コースごとに評定をつけている。

4) 「履修認定委員会による厳格かつ適正な履修認定」

履修認定委員会は、校長、各学科長、事務課長、学事課長、ホームルーム担任によって構成され、委員会開催時での認定資料に基づき適切に認定している。

卒業・進級の認定基準

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

1) ディプロマポリシー「卒業認定・学位授与の方針」

本校の教育理念である「本物志向の教育」、「国際教育・教育の国際化」、「師弟同行を踏まえた教育活動」、「学校文化」に基づいて設定された教育課程を履修して所定の単位を修得した上で、次の資質・能力を身につけ総合的に活用できる者に卒業を認定するとともに、専門士の称号を与える。

1. 地域社会、国際社会の動向に目を向け、より良い社会の実現に向けて主体的かつ積極的に行動し、貢献することができる。

2. フラワー・ブライダル・ビューティの各分野における専門性の基礎となる幅広い教養を深め、専門的な知識・技術・職業理解を身につけている。

3. 他者を尊重し、多様な価値観を受け止め、様々な人々と円滑にコミュニケーションを図ることができる。

4. 自らを律し、課題を発見し、他者と協働して課題解決のために行動できるとともに、向上心を持って学び続けることができる。

5. 身につけた教養や専門性をもって他者に寄与できることの幸福やその重要性を深く理解することができる豊かな人間性を有している。

2) 「卒業の認定に関する方針の公表」

授業担当教員には、新年度授業前に開催する「教職員全体会」において、学則の説明を通して「卒業の認定に関する方針」の具体的な内容を公表している。また、学生及びその保護者については、入学後のオリエンテーションの場で配布される「ハンドブック（学生便覧）」やその後のホームルーム活動の場を通して、学生一人ひとりに周知が図られるよう取り組んでいる。

3) 「卒業・進級の認定の適切な実施状況」

卒業認定・進級判定委員会は、校長、各学科長、事務課長、学事課長、ホームルーム担任によって構成され、委員会開催時での認定資料に基づき適切に認定している。進級、卒業にあたっては、該当学年で必要な必修科目についてすべて認定されていることを条件としている。

学修支援等

- ・クラス担任制による学修における課題を、定期的な面談によりフォローアップを行っている。
- ・授業時間外による自主練習の機会に対し、主に専任教員が中心となって担当を行っている。

○フラワービジネス科

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
39人 (100%)	0人 ( 0%)	37人 ( 95%)	2人 ( 5%)
（主な就職、業界等） ブライダルフラワー、生花店、造園業			
（就職指導内容） 履歴書添削指導、面接指導、ガイダンス・説明会等案内、オリジナルのキャリアカリキュラムにて就職指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） フラワー装飾技能士、園芸装飾技能士、造園技能士、色彩検定など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
83 人	1 人	1.2%
（中途退学の主な理由） 就職		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任による面談等		

○ブライダルビジネス科

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
65人 (100%)	0人 ( 0%)	65人 (100%)	0人 ( 0%)
（主な就職、業界等） ブライダル、販売、美容業界			

(就職指導内容) 履歴書添削指導、面接指導、ガイダンス・説明会等案内、オリジナルのキャリアカリキュラムにて就職指導
(主な学修成果(資格・検定等)) ブライダルコーディネーター技能検定3級、着物着付け検定、サービス接客検定など
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
181 人	5 人	2.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更、学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による面談等		

○トータルビューティ科

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
13 人 (100%)	0 人 ( 0%)	11 人 ( 85%)	2 人 ( 15%)
(主な就職、業界等) 美容業界、エステサロン、ヘアメイク			
(就職指導内容) 履歴書添削指導、面接指導、ガイダンス・説明会等案内、オリジナルのキャリアカリキュラムにて就職指導			
(主な学修成果(資格・検定等)) AJESTHE 認定フェイシャルエステティシアン、AMJ エアブラシメイクアップアーティストディプロマ、JNEC ネイリスト技能検定など			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
35 人	7 人	20%
(中途退学の主な理由) 学業不振、学校生活不適應、病気・けが		

(中退防止・中退者支援のための取組)  
担任による面談等

○フラワーマスター科

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果(資格・検定等))			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

○ブライダルマスター科

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
1人 (100%)	0人 (%)	1人 (100%)	人 (%)
(主な就職、業界等) ブライダル業界			
(就職指導内容) 履歴書添削指導、面接指導、ガイダンス・説明会等案内、オリジナルのキャリアカリキュラムにて就職指導			

(主な学修成果(資格・検定等)) ブライダルコーディネーター技能検定3級、着物着付け検定、サービス接客検定など
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による面談等		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
フラワービジネス科	150,000 円	800,000 円	120,000 円	
ブライダルビジネス科				
トータルビューティ科				
フラワーマスター科				
ブライダルマスター科				
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.nwfb.ac.jp/disclosure.html">https://www.nwfb.ac.jp/disclosure.html</a> 「大学等における修学支援に関する法律第7条1項に係る情報公開」の項目にて公表		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学生が質の高い実践的な職業教育を享受できるよう、学校運営の改善と発展を目指すため学校評価 (自己評価・学校関係者評価) を実施する。 実践的な職業教育を目的とした、自らの教育活動その他の学校運営について、社会のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し、その達成の適切さ等について評価する。 評価結果に基づき、学校として組織的・継続的な改善を図る。 ※学校関係者評価委員会は、年2回実施 評価項目 1) 教育理念・目的・人材育成像 2) 学校運営 3) 教育活動 4) 学修成果 5) 学生支援 6) 教育環境 7) 生徒の受け入れ募集 8) 財務 9) 法令等の遵守 10) 社会貢献・地域貢献 評価委員会の構成 1. 学科毎の業界関係者 各1名 計3名 2. 教育有識者 1名 3. 卒業生 1名		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
業界団体 (ブライダル) 役員	2024. 4. 1～2026. 3. 31	業界関係者
業界関連会社 (ブライダル) 管理職	2024. 4. 1～2026. 3. 31	業界関係者
業界関連会社 (フラワー) 役員	2024. 4. 1～2026. 3. 31	業界関係者
業界関連会社 (ビューティ) 役員	2024. 4. 1～2026. 3. 31	業界関係者
元私立高等学校教員	2024. 4. 1～2026. 3. 31	教育有識者/ 高等学校関係者
業界関連会社 (ブライダル) 社員	2024. 4. 1～2026. 3. 31	卒業生/ 本校同窓会役員
学校関係者評価結果の公表方法		

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.nwfb.ac.jp/disclosure.html">https://www.nwfb.ac.jp/disclosure.html</a> 「大学等における修学支援に関する法律第7条1項に係る情報公開」の項目にて公表
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.nwfb.ac.jp/index.html">https://www.nwfb.ac.jp/index.html</a>
--